法政大学学術機関リポジトリ
HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-07-04

<資料解説>シェフィールド大学地理学科案内

小松, 安希 / KOMATSU, Aki

(出版者 / Publisher)
法政大学地理学会
(雑誌名 / Journal or Publication Title)
JOURNAL of THE GEOGRAPHICAL SOCIETY OF HOSEI UNIVERSITY / 法政地理
(巻 / Volume)
28
(開始ページ / Start Page)
51
(終了ページ / End Page)
54
(発行年 / Year)
1998-09-30

〔法　政　地　理
J. Geogr. Soc. Hosei Univ.
28. p 51—54.　(1998. 9)〕

シェフィールド大学地理学科案内

小　松　安　希

Abstract
Ⅰ　はじめに
Ⅱ　シェフィールド大学における地理学科
Ⅲ　カリキュラム・講義形式
Ⅳ　授業体験記
Ⅴ　おわりに

Abstract

As a scholarship student of Hosei University, I have been to the University of Sheffield, England for one academic year from September, 1997 to June, 1998. I belonged to the department of geography and studied mainly physical geography. The system is very different from Japanese one. Geography department of Sheffield University belongs to both faculty of social science and faculty of pure science. It has own building and 25 academic staff, and it takes 3 years to get degree.

In Japan at the moment, it is not so easy to get enough information about geography departments of foreign universities. Therefore I would like to introduce the geography department of Sheffield University through my own experiences.

Ⅰ　はじめに

筆者は1997年9月から1998年6月までの10ケ月間，法政大学派遣留学生としてイギリスはシェフィールド大学の地理学科に在籍した。在学中は自然地理学の科目を中心に履修登録し，イギリスの大学における地理教育を体験する機会を得た。『地理』[1] には日本全国の大学における地理学教室案内があるが，諸外国のそれは小田（1996）や吉越（1987）をみるのみであり，更に学生の立場からの経験を著したものは皆無に近いと思われるのでここに紹介してみたい。

筆者が滞在したシェフィールドは，ロンドンから北に約250kmの内陸部に位置し，人口約50万人を擁するイングランド第4の都市である（Fig. 1）。産業革命時から刃物の生産により栄え，それらは現在でもレストラン等で広く使用されている。シェフィールドの西側にはペニン山脈が走り，イングランドでは珍しい山がちな地形がみられることも特徴のひとつとして挙げられる。ま

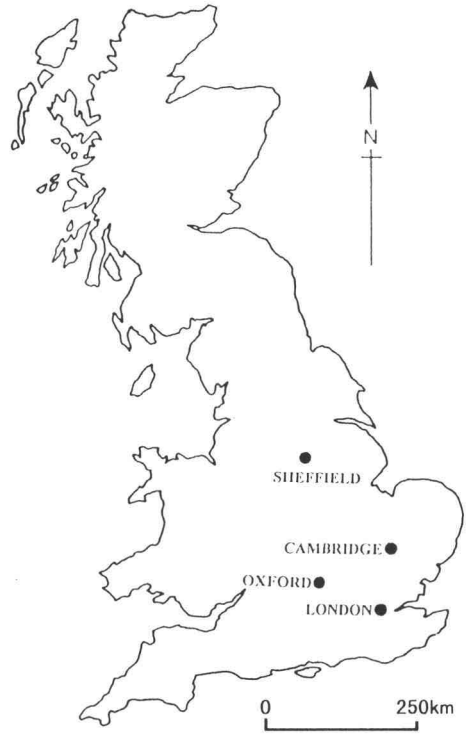

Fig. 1　Map of U. K.

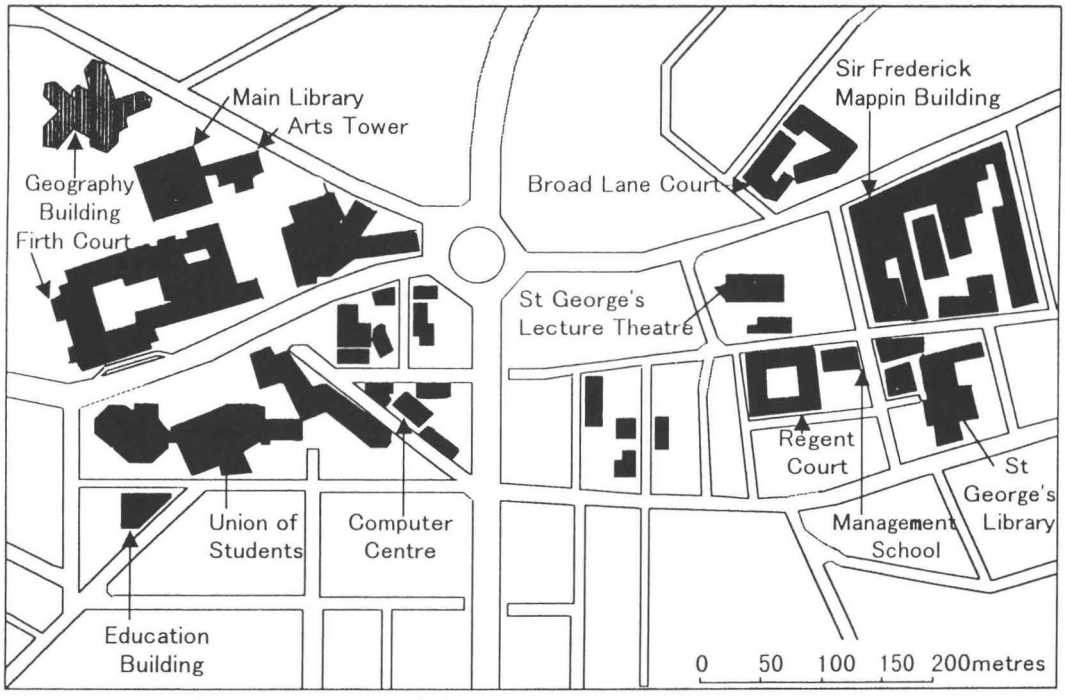

Fig. 2　Map around the University of Sheffield

た，最近では映画『The Full Monty』の舞台となった。

Ⅱ　シェフィールド大学における地理学科

シェフィールド大学は，8つの学部―建築学部・文学部・教育学部・工学部・法学部・医歯学部・社会科学部・理学部からなり，地理学科は社会科学部及び理学部に属する。大学の形式としては市街地の中に校舎などが点在する都市的・ヨーロッパ的な形態を取っており（Fig. 2），地理学科は都市及び地域計画学科とともにひとつの建物を擁する。6階建てのその建物には，教員の研究室（個室），大学院生の研究室，地理学科事務室，講義室，実験室，電算室，GIS及びリモートセンシングの電算室（Photo 1），図書室，地図室（Photo 2）等が含まれており，この中において一通りの用は済むことになっている。地理学科における専任教員数は25，その内訳はProf. 6名，Dr 17名，Mr 2名となっており，更に研究員7名，秘書・事務員4名，技術的な助手12名等[2]が加わる。教員は授業に加えて，週に2，3時間のオフィスアワー，1日の研究日を持つのが通常のようである。大学院生は約50名，学部生は500名程度である。

Ⅲ　カリキュラム・講義形式

シェフィールド大学では，秋学期・春学期の2学期制をとっており，各学期は15週ずつ，うち最後の3週間が試験期間となる。基礎的な科目は10単位，より専門的なものは20単位で，1学期60単位を登録する。年度の初めには学科の手引きが配布され，各授業毎にも指導予定表が配られる。前者には，年間予定，講義内容，時間割，評価基準に加え，学生への援助，健康管理，安全に関する記載もみられる。また，後者には，授業計画，参考文献等の案内が載っている。シェフィールド大学における地理学科は3年制であり，学部生は1年次から専門教科を履修する。これは，大学進学以前の教育過程において，すでにある程度絞られた科目のみをかなり専門的に学習している為に

Photo 1　Computer room of GIS and RS

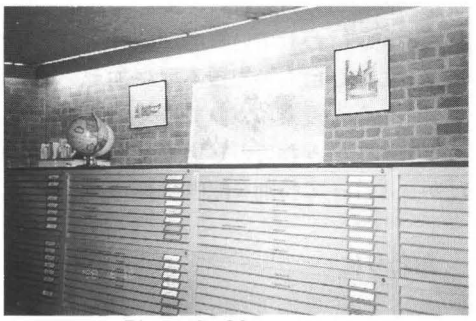

Photo 2　Map room

可能なシステムであると言えよう。授業は月曜日から金曜日の9：00から18：00の間に，一コマ50分間で行われ，週2，3回講義される。授業の形式は，講義・実習・チュートリアル・巡検等からなる。講義はOHPを用いて行われるのが通常であり，教員が説明やより詳しい内容を加えながら進められていく。チュートリアルとは，すべての授業に必ずあると言うわけではなく，また毎週行われるとも限らない。平均的には，2週間に1度の割合で行われる。その形式としては，1名の教員に4，5人の学生がつき，課題は事前に示される場合が多い。チュートリアルは，課題の答え合わせを兼ねながら，討論形式で進められる。巡検も必修ではなく，必要に応じて行われる。日帰りで行われるものもあれば，海外に出る場合もある。評価は，試験及びレポートの結果から複数（通常2名）の教員の目を通してつけられるとのことである。

Ⅳ　授業体験記

シェフィールド大学地理学科において履修可能な科目はTable 1[3]に示される通りである。筆者はそのうち秋学期には，Earth Surface Processes, Introduction to Geographic Information Systems, Introduction to Remote Sensing, Theory and Practice of Geographic Information Systemsを，春学期には，Environmental Change, Applied Hydrology of Soils and Ground Water, River Mechanicsを履修登録した。年次によってその講義方法がかなり異なる印象をもったので，それぞれを比較，紹介してみようと思う。但し，筆者は1年次の講義を受ける機会を持たなかった為，2年次及び3年次の様子のみしかお伝え出来ない。

2年次の講義は，1年次のそれに続きまだ基礎的な内容が中心である。選択必修の講義は，100名以上の学生が登録し，授業も大教室でマイクを使用しての形式が取られる。基本的には，一コマ50分の授業が週3回行われ，更にチュートリアルが2週間に一度の割合で加わる。教員も複数（3，4名）である場合が多く，分野ごとに担当教員が異なる。例えば，筆者が春学期に登録したEnvironmental Changeでは，まず初めの3週間は古環境再現がテーマであり，その為に必要な気候変動，データ解析，年代の測定方法等がProf. David Thomasによって講義された。続く2週間は，Dr Chris Clarkによって第四紀の気候変動が，残る4週間は長期的な環境変化及び人為的な影響がDr Nigel Bridgwaterによってそれぞれ行われた。授業は教員が一方的に講義を進めるのが普通であり，チュートリアルで個人的な差異は補われる。この際板書はあらかじめ用意されているOHPによって行われる。また，GISやリモートセンシングの入門講座は週に一度，2時間連続で行われ，その前半で講義が，後半ではコンピュータを用いた実習が行われる。地理学科の電算室には，約30台のPCが設置されている。2年次の評価は，1～2時間の筆記試験及びレポート（1000字程度）や実習の課題提出によってつけられる。

これに対し，3年次の講義はよりその内容が細分化されており，学生数一桁の授業もみられる。

Table 1　List of modules offered by Geography

LEVEL 1
Land Surface Systems
Physical Systems at the Global Scale
Region, Nation and World
Social and Natural Environments
Study Skills for Geographers Ⅰ
Study Skills for Geographers Ⅱ
LEVEL 2
Approaches to Human Geography
Biogeography and Environmental Conservation
Climatology
Earth Surface Processes
Economic Geography
Environment, Society and Policy
Environmental Change
Environmental Chemical Analysis
Geography of Contemporary Europe
Introduction to Geographic Information Systems
Introduction to Remote Sensing
Local Societies and Economies
Practical Techniques for Physical Geography
Project Design in Human Geography
Project Design in Physical Geography
Quantitative Concepts and Methods in Geography
Social and Political Geography
Slope Forms and Processes
Urban Geography
LEVEL 3
Applied Hydrology of Soils and Ground Water
Arctic and Alpine Environments
Cultural Geography
Contemporary issues in Population Geography
Contemporary issues in Urban Geography
Dryland Environments
Environment and Policy in Britain
Environmental Modelling
Extended Essay in Economics and Geography
Extended Essay in Geography and Politics
Extended Essay in Geography and Sociology
Extended Geographical Essay
Feminism and Human Geography
Fluvial Geomorphology
Geographical Impact of the European Union
Geographical Research Project
Geography of Elections
Local Economic Development
Mesoclimatology
Multinationals, Industrial Restructuring and Regional Systems
Quaternary Environments beyond the Icesheets
Regional Economy and Policy
Remote Sensing
Research Project in Geography and Politics
Research Project in Geography and Sociology
River Mechanics
Social Geography of Europe
Society and Space
Structural Geomorphology
The Geography of Environmental Pollution
Theory and Practice of Geographic Information Systems

平均的には，2時間連続で講義が行われ，GIS等の授業には他に1時間の実習が設けられている。2年次の講義とは異なり，通常それぞれの専門分野における1名の教員によって授業は進められる。更に，学生数が少ないため，教員による講義に加え，学生によるセミナーが行われる場合も多い。試験は2時間が平均的であり，加えて2,000～3,000字のレポートにより評価される。

実際に現地の学生とともに授業を受けてみての感想は，各専門分野の教員が多い為，より細分化された授業が行われている点が興味深いところであった。しかし自らの知識不足に加え，語学力のハンディから，授業についていくのは決して容易なことではなかったことも事実である。また留学生だからと言って特別な配慮は期待出来ない。

V　おわりに

最後にこの場を借りて，留学という貴重な体験を与えて頂いた法政大学とともに，この経験を次に伝えるようにと執筆を進めて頂いた法政大学水文地理学教室の小寺浩二先生に感謝の意を表したい。

注　記

1）『地理』34巻8号～40巻11号

2）Cartographic, computing, laboratories, photographic, reprographic, safety, workshop staff 及び qualified firstaiders

3）level1：1年次，level2：2年次，level3：3年次

参考文献

小田匡保（1996）：レーゲンスブルク大学地理学教室瞥見，駒澤地理，32，107～117.

吉越昭久（1987）：英国の大学の地理学教育・研究システム，地理，32，78～87.

Geography Undergraduate Student Handbook 1997－1998，University of Sheffield.